

### #3 からだのために十字架の働きを経験し、からだの唯一の 交わりの中で生きる (国際華語特別集會) 2019/6/10-16

**I. 私たちはキリストのからだの実際の中で生きようとするなら、からだのために、からだの中で十字架の働きを経験する必要があります:** **A.** 十字架は私たちをからだに導きます。十字架を認識することは、からだを認識することに私たちをもたらします。ローマ6:6 私たちは次のことを知っています。私たちの古い人が彼と共に十字架につけられた。8:13 その霊によって体の行ないを死に渡すなら、あなたがたは生きます。12:5 私たちも数は多いのですが、キリストの中で一つからだであり、そして各自は互いに肢体なのです。**B.** 十字架はからだに導き、また十字架はからだの領域の中で働きます:**1.** 十字架の働きは、キリストのからだに到達し、キリストのからだにおいて究極的に完成します。**目**

**2.** 十字架の働きは私たちをからだの中へともたらすだけでなく、またからだは十字架が働く領域となります。**C.** 十字架がなければ、私たちはキリストのからだの中で前進することはできません:**エペソ2:16** また十字架を通して、両者一つからだの中で神に和解させるためでした。それによって敵意を殺してしまっただけです。**1.** 十字架は私たちをテストし、私たちのすべての混合や汚れを淘汰します。**マタイ16:24** それから、イエスは弟子たちに言われた、「だれでも私について来たいなら、自分を否み、自分の十字架を負い、私に従って来なさい。**2.** 十字架は私たちの天然の命、私たち自身の活動、不釣り合いな成長を掘って取り去ります。**3.** からだの中の生活と働きは、肉を厳しく対処することを必要とします。このような対処は、キリストの十字架に対する深い認識を必要とします。**4.** からだの制限は、私たちの自由を取り去り、私たちを強いて十字架に行かせます。**火**

**5.** 私たちに対する神のすべての対処は、私たちをからだのために準備することを目的としています。私たちの中で彼のすべての働きは、取り除く過程であり、それは私たちがからだの機能する肢体となることができるためです。

**6.** 私たちの天然の命が十字架によって対処されているなら、また私たちがキリストの頭首権に服従し、からだの生活をするなら、私たちはその霊の油塗りをもち、からだの交わりを享受します。**1コリント1:18** 十字架の言は滅びつつある者には愚かですが、救われつつある私たちには、神の力です。**D.** からだの啓示を見るには、非常に大きな代価を必要とします。なぜなら、それは私たちの天然の命の源に触れるからです:**1コリント2:2** なぜなら、私はあなたがたの間ではイエス・キリスト、しかも十字架につけられたこの方のほかは、何も知るまいと決心したからです。**1.** からだのビジョンの下で、私たちは砕かれます。そして、私たちがからだを知って、からだの中で建造される唯一の道が砕かれることであることを、私たちは認識します。**2.** 十字架が私たちの内側で深い働きを成してはじめて、私たちはからだの制限を受けることができ、からだの他の肢体と組み合わせられることができるようになります。**1コリント12:27** 今や、あなたがたはキリストのからだであり、そして各自は肢体なのです。**3.** からだの啓示を見ることは、私たちの霊的生活における徹底的な変化を意味します。この啓示が私たちに見せることは、私たちから出て来た何かではなく、私たちの中のキリストだけが、私たちがからだの肢体に構成するということです。**水**

**II. キリストのからだは宇宙的に唯一無二であるので、キリストのからだの交わりも宇宙的に唯一無二です:** **1ヨハネ1:3** 私たちが見たもの、聞いたものを、あなたがたにも伝えます。それは、あなたがたも私たちと交わりを持つためです。私たちの交わりとは、御父との、また御子イエス・キリストとの交わりのことです。**7** しかし、神が光の中にお

られるように、私たちが光の中を歩くなら、私たちは互いに交わりを持ち、御子イエスの血が、すべての罪から私たちを清めます。**A.** 人の体に血液の循環があるように、キリストのからだにも一つの循環があります。この循環を新約は交わりと呼んでいます。**B.** キリストのからだの交わりは、神聖な命の水流です。神聖な命の水流が私たちの内側を流れるとき、キリストのからだの交わりがあります。**C.** 神聖な交わりは、キリストのからだの中で生きる実際です。この交わりの中で制限されることによって、キリストのからだは一の中に保たれます。**木**

**D.** キリストのからだの唯一の交わりは、キリストのからだの唯一の一と関係があります:**1.** からだの中のこの神聖な命の交わり、循環は、からだのすべての肢体を一の中へともたらします。**エペソ4:3-4** 平和の結合するきずなの中で、その霊の一を保つことを熱心に努めなさい。一つからだ一つ霊、それはあなたがたも、あなたがたの召しの一つ望みの中で召されたようにです。**2.** この一は、その霊の一であり、キリストのからだの一でもあります。**3.** この唯一の交わりは、信者たちがキリストの中で一に保たれるための唯一の立場としての、キリストのからだの真の一です。

**E.** 諸召会の中の交わりは、キリストのからだの交わりです:**1.** 一つ霊があるので、ただ一つのからだがあり、からだの中にはただ一つの命の循環があります。この循環がキリストのからだの交わりです。**2.** 地方召会は、キリストの唯一のからだの一部分です。そしてからだの交わりは、宇宙的に一です。交わりの中に分離はありません。**3.** どの召会や地域も、自らをからだの交わりから隔離すべきではありません。

**4.** 諸地方召会は、全地のすべての真の諸地方召会と交わり、キリストのからだの交わりを保つべきです。**5.** 一つの宇宙的なキリストのからだを構成するすべての召会の間には、何の組織もありませんが、キリストのからだの交わりがあります。**ピリピ1:5** それは、最初の日から今日まで、あなたがたが福音を前進させる交わりにあるからです。**金**

**F.** 私たちは主の食卓に来る時はいつでも、宇宙的なキリストのからだの唯一の交わりを実行しに来ます:**1コリント10:16-17** 私たちが祝福する祝福の杯、それはキリストの血の交わりではありませんか? 私たちがさくパン、それはキリストの体の交わりではありませんか? 一つパンであるからには、私たちは数が多くても一つからだなのです。それは、私たちがみなこの一つパンにあずかるからです。**1.** 主の食卓は、キリストに属している私たちが一であることの証しです。**2.** 私たちはキリストを享受し、彼の食卓で彼の血と体にあずかる時、キリストのからだの交わり、すなわち諸召会の中の唯一の交わりを表現し実行します。**目**

**Crucial Point①:神の事柄において、天然の存在に信頼せず、十字架につけ、からだに導かれ、前進することを学ぶ**  
**OL1:** 十字架は私たちをからだに導きます。十字架を認識することは、からだを認識することに私たちをもたらします。**OL2:** 十字架はからだに導き、また十字架はからだの領域の中で働きます。**OL3:** 十字架がなければ、私たちはキリストのからだの中で前進することはできません。

人は墮落した時、彼自身の観念、選択、判断のゆえに墮落しました。ですから、神は旧創造から生じるものが何であろうと、それが優勢になることを許されません。天然の人の「背骨」は、折られなければなりません。彼のものつがいは触れられなければなりません。人は神に服従する前に、足が不自由にされ、自分の面目を失わなければなりません。これが、神が新創造において行なっておられることです。神は、旧創造のすべてを粉碎しておられます。また神はキリストから生じるすべてのものをもって私たちに

構成しています。それによって私たちは実際的にキリストのからだになることができます。…神は、人の中にある肉からのものをすべて取り除きたいのです。神の子供たちはまず天然の命を対処しなければなりません。もし彼らが天然の命を対処するなら、自然にからだの中になります。なぜなら、キリストのからだは、キリストから生じるすべてのものから成っているからです。古い人の何ものも、からだの中にとどまることはできません。

十字架の働きは、私たちをからだの中にもたすだけでなく、からだを、十字架の働く領域そのものになります。もし私たちが会衆としてここにいるだけなら、私たちは十字架を必要としないかもしれません。しかしながら、私たちはからだとして共にいるので、十字架がなければ前進することはできません。十字架は私たちの天然の命、私たち自身の活動、不釣り合いな成長を掘って取り出します。十字架は召会にとって不可欠です。十字架はクリスチャンの間で不可欠です。私たちは好んでも好まなくても、他の兄弟姉妹と交流しなければなりません。なぜなら、私たちはみなからだの中にいるからです。…十字架は、私たちをテストし、私たちのすべての混合や汚れを淘汰します。

### 適用: 奉仕者編

奉仕についての基本的学課の#16「**神の事柄における天然の存在の無力さ**」のアウトラインを祈り読みしてください。

(1) 私たちの霊は、死んでいる。(2) 私たちの魂は、神のその霊の事柄を受け入れず、またそれらを知ることができない。(3) 私たちの心は、すべてのものにまさって偽り、それは直らない。エレミヤ 17:9 心はすべてのものにまさって偽るもので、それはいやされることはない。だれがそれを知ることができよう? (4) 私たちの思いは、むなしさに満ち、理解力は暗くなった。エペソ 4:17…もはやあなたがたは、異邦人が彼らの思いのむなしさの中を歩くように、歩いてはなりません。18 彼らは、理解することで暗くなり、彼らの中にある無知のゆえに、その心のかたくなさのゆえに、神の命から遠ざけられ、(5) 私たちの意志は、かたくなである。(6) 私たちの肉は、神に服従することができないし、神を喜ばすことができない。(7) 私たちは自己を否む必要がある。(8) 私たちの体は、罪の体、死の体である。(9) 神の事柄において、天然の存在に信頼しないことを学ぶ。ピリピ 3:3 なぜなら、私たちこそ割礼の者(キリストと共に十字架につけられた者)であり、神の霊によって仕え、キリスト・イエスの中で誇り、肉を頼みとしていないからです。

このアウトラインから見るように、あなたの天然の存在は、十字架につけられる以外に道はありません。しかし、天然の命を十字架につけることで、ミングリングされた霊とキリストのからだに導かれます。あなたが十字架を奉仕の秘訣とし、主観的に経験できますように。

**福音開展の証し:** 先週の福音開展で 5 人がバプテスマされました。主に感謝します。しかし前半には誰も救われなかっただけでなく、ほとんど集会所に連れて来ることすらできず、閉塞感がありました。水曜の夜、まず聖霊と一つになっていない自分たちの罪を告白し、状況を交わりました。そして神戸大等では中間テストの時期であることがわかりました。すぐに主なターゲットを大学生から青年在職者に変更し、それに基づき場所も変更しました。次の日から毎日バプテスマすることができました。福音は聖霊の働きであるので、外側の状況分析と内側の命の感覚に従って行動しなければなりません。再び、福音開展で天然の力や血気は何の役にも立たないことを学びました。

**祈り:** 「おお主イエスよ、私は主に仕えたいです。しかし主に仕えるとき、自分の天然の存在が奉仕において全

く無力で、無能であることを見なければなりません。おお主イエスよ、天然の存在を十字架につけ、自己に信頼せず、神の霊によって主に仕えることを学ばせてください。十字架は私をからだに導きます。私たちは十字架を経過して初めて、からだの組み合わせの中で、からだを建造する奉仕をすることができます。アーメン！」

### Crucial Point②: 自分の度量の制限の下で

#### 業務を遂行し、効率を上げ、神の祝福を受ける

**OL1:** からだの制限は、私たちの自由を取り去り、私たちを強いて十字架に行かせます。

**OL2:** 私たちに対する神のすべての対処は、私たちをからだのために準備することを目的としています。私たちの中での彼のすべての働きは、取り除く過程であり、それは私たちがからだの機能する肢体となることができるためです。

あなたはこれまでに神があなたに与えた度量をあなたに見せてくださるよう神に求めたことがあるでしょうか? あなたは、神があなたに与えておられる度量の中で歩くべきです。あなたは、自分の度量の内側で歩くことができます。あなたはその度量を越えて歩くことはできません。このゆえに、あなたは自分の度量の境界がどこにあるのかを探し出し、この境界を受け入れなければなりません。あなたがこのことを行なうなら、あなたは他の多くのことを行なおうとして、欲張りになることもなく、野心的になることもなく、落ち着きがなくなることもありません。パウロは II コリント 10 章 で次のように言っています、「13 しかし、私たちは自分の度量を越えて誇ろうとはしません。むしろ測りなわの神が、私たちに割り当ててくださった尺度の度量にしたがって、遠くあなたがたにまで到達することを誇ります。14 私たちは、あなたがたに到達しなかった者のように、無理に身を伸ばしているのではありません。なぜなら、私たちはキリストの福音をもって、遠くあなたがたにまで行った最初の者だからです」。自分の度量を越えることは、他の人の境界を踏み越えてしまうことです。それは他の人たちに介入し、彼らを押し出してしまうことです。私たちは、献身がキリストへの服従に導き、謙そんはからだへの服従に導くことを覚えておかなければなりません。詩篇の作者は、「私は自分の及ばない大きなことや、不思議なことを行ないません(詩 131:1)」と言いました。

### 適用: 在職青年・大学院生編

ビジネス・ライフにおいて、あなたは権限を越えないことを学ぶべきです。このことは極めて重要な点です。あなたはよくこの点を理解しなければなりません。多くのビジネス・パーソンは、このことを十分に理解しないで業務を行っており、その結果、効率が極めて悪く、神の原則に反するので祝福を受けることもできません。

例えばあなたは他の人たちと共に、あるプロジェクトを進めています。あなたはプロジェクトを推進するメンバーを補強する必要があるという考えに至りました。そしてプロジェクト・メンバーと話し合い、財務部とも確認をとった結果、プロジェクトの予算上は可能であることがわかりました。しかしあなたにも、あなたと一緒に働くプロジェクト・メンバーにも、プロジェクトの予算をどう配分するかを決定する権限がありません。その後あなたは、権限を持っている部長にあなたの案を相談しましたが、却下されました。このような場合、あなたはまず権限を持っている部長と相談すべきでした。部長はその他の多くのファクターを考慮した上で、全体最適からどこに資本を投入すべきなのかを決定します。部長との協議なしにいろいろ調べたり相談したりすることは、時間の無駄であり(議論自体が不必要である)、部長が同意しない場合に文句を言ったりすることも時間の無駄です。あな

## 適用: 青少年、大学生編

たは権限を理解した上で、戦略的に時間を配分して業務を行ってください。神は秩序の神であり、あらゆる代理権威は神によって立てられています。あなたが代理権威に服従しないのであれば、それは神に反逆することになるので、神の祝福を受けることはできません。

召会生活の中で、キリストのからだの秩序の中で奉仕することは、会社組織の秩序の中で働くことと原則は同じです。からだの中の制限は、あなたがからだの中で機能してキリストのからだの建造に至り、あなたが祝福されるためです。あなたは成長するために、勝利者になるために、制限されることを学んでください。

**祈り:**「おお主イエスよ、あなたの尊い御名を一日に 50 回以上呼び求めます。私の天然の命は制限されることを嫌います。しかし制限されなければ、混乱があるだけであり、神の祝福にあずかることもできません。神の測りなわの制限にとどまります。私はキリストのからだの一体です。各肢体の機能は異なりますが、からだの建造のために調和されて機能します。キリストのからだの一体として正常に機能するために、私は制限の下にとどまることを学びます。」

### Crucial Point③: 交わりはキリストのからだの血液の循環であり、私たちが霊的に健康にする

**OL1:** 人の体に血液の循環があるように、キリストのからだにも一つの循環があります。この循環を新約は交わりと呼んでいます。**OL2:** キリストのからだの交わりは、神聖な命の水流です。神聖な命の水流が私たちの内側を流れるとき、キリストのからだの交わりがあります。**OL3:** 諸召会との交わりは、キリストのからだの交わりです。

主は彼を呼び求めるすべての者に豊かです。呼ぶことは、単に祈るだけではありません。「呼ぶ」を指すギリシャ語の言葉は、大声でさえ「叫ぶ」ことを意味します。ある状況では、私たちが大声で主を呼ぶのは適当でないでしょう。しかしながら、私たちはそのように行なう適切な状況にあるとき、大声で「おお、主イエスよ！ アーメン！」と叫ぶべきです。このように主を呼ぶことによって、私たちはキリストの豊富を享受し、強められます。これは、主の御名を呼び求めることがその霊を私たちの内側で循環するようにさせるからです。この循環する霊は複合の霊であり、それは神性、人性、キリストのパーソン、キリストの死、キリストの復活を含みます。…この霊が私たちの内側で循環するとき、私たちはキリストの豊富のすべてを享受します。この循環が、キリストのからだの交わりです。

私の肉体のどの部分も、他の部分から分離されることはできません。なぜならすべての部分は、一つの血液の循環にあずからなければならないからです。ある人は自分自身を分離したままに保とうと思うかもしれませんが、しかし、キリストのからだのどの部分でも分離しているなら、その部分は最終的に死ぬでしょう。健康なままの最上の方法は、「さらに多くの血を受け、さらに多くの血を与える」こと、すなわち、交わり、命の循環の中にとどまることです。そうすれば、私たちは自分自身を救い、からだのいやしを促すことでしょう。いくつかの場所に平安がなかったのは、交わりに欠けるからです。私たちは交わりを持てば持つほど、ますます平安を得ます。

多くの人々が肉体的に弱いのは、彼らが座りすぎているからです。彼らは動きません。それは霊的にも同じです。私たちが病んでいて弱いのは、自分自身と共に、自分自身の中に、自分自身のためにとどまるからです。…私たちは他の諸召会と交わることによって、自分自身から抜け出す必要があります。私たちが助けられたいなら、その秘訣は別の地方の兄弟たちに会いに行くことです。

医薬品や医療機器で最も販売量が多い領域の製品は、循環器系です。これは人の病の原因が、おもに循環器系の問題から来ていることを証明しています。このことはキリストのからだも同じです。キリストのからだの血液の循環は交わりです。交わりには、主と信者との垂直の交わりと、信者たちとの間の水平の交わりがあります。水平の交わりは、近隣の諸召会とのフレンディングを含みます。この交わりがあればあるほど、あなたは霊的に健康になります。またこの交わりが欠けると、あなたは直ちに不健康になります。

今年の初めに吉田兄弟が主に召されましたが、彼は日本の諸召会を導くために、リー兄弟とよく細かいことまで交わりおられたそうです。吉田兄弟はあなたの模範です。あなたはあなたの霊的パートナーやあなたを導いている兄弟姉妹に開いて、進学のこと、就職のこと、学校での成績や人間関係、将来の様々なこと、召会の奉仕のことを交わり、共に祈る必要があります。もちろんこれらのことはまず主と個人的に交わる必要があります。主と交わり、キリストのからだの肢体と交われば交わるほど、霊的血液の循環はますます良くなり、不要なものは運び去られ、必要な栄養素と酸素が供給されます。交わりの中であなたは祝福され、成長することができます。

この交わりの原則は、あなたのクラブ活動やクラスの先生とのコミュニケーションにも適用できます。クラスメイトや先生とのコミュニケーションは、霊的な交わりと全く同じではありませんが、コミュニケーションが良ければ良いほど人間関係は良くなるという点では原則は類似しています。

近年、学業や仕事の改善のために科学の目が入るようになり、コミュニケーションの重要性がよりクローズ・アップされるようになりました。成功のためには IQ (知能指数) だけでなく、EQ (自分の感情を認識し、自制する能力、他者を共感的に理解する能力) が重要であることが分かってきました。

**祈り:**「おお主イエスよ、あなたの御名を大声で呼びます。おお主、アーメン、ハレルヤ！ 主の御名を大声で呼ぶとき、内側に神聖な血液の循環があります。主を賛美します。また私は他の地区の青少年や大学生の兄弟姉妹とフレンディングし、近隣の諸召会の青少年、大学生とフレンディングします。このようなフレンディングにより、さらに豊かに水平の交わりと垂直の交わりにあずかることができます。交わりの中で私は癒され、前進することができます。」

### Crucial Point④: 主の食卓の交わりは、宇宙的なキリストのからだの唯一の交わりを証し実行する

**OL1:** 主の食卓は、キリストに属している私たちが一であることの証しです。私たちはキリストを享受し、彼の食卓で彼の血と体にあずかる時、キリストのからだの交わり、すなわち諸召会との唯一の交わりを表現し実行します。

**1 コリント 10:16** 私たちが祝福する祝福の杯、それはキリストの血の交わりではありませんか？ 私たちがさくパン、それはキリストの体の交わりではありませんか？

**17** 一つパンであるからには、私たちは数が多くても一つからだなのです。それは、私たちがみなこの一つパンにあずかるからです。

1 コリント 10:16 で交わりは、…主の血と体にあずかる私たちを、互いに一にするだけでなく、主とも一にします。私たちあずかる者は、主の血と体の交わりの中で、自分自身を主と一体化させます。17 節でパウロは、一つパンと一つからだに関して強い言葉を語り、私たちが一つパン、一つからだであるのは、私たちがみなこの一つパンにあずかるからであると言っています。私たちが一つパンに共にあずかることは、私たちすべてを一にします。これは、私たちが

キリストにあずかることが、私たちすべてを彼の一つのからだとすることを示します。私たちすべてがあずかるキリストが、私たちを彼の一つのからだの中へと構成します。

私たちは自分自身をからだの交わりから隔離するなら、主の体にあずかる資格はありません。なぜなら、主の晩餐において、食卓の上のパンはキリストのからだ全体を表徴するからです。確かに、パンは、私たちのために十字架上で犠牲とされた主の肉体を表徴します。これはパンの意義の一つの面です。この意義のもう一つの面は、パンが一つからだを表徴することです。このゆえに、私たちが共に集まって主の食卓にあずかるとき、そのパン、パンのかたまりがすべての諸召会を表徴することを認識する必要があります。もし私たちの地方の召会、あるいは特定の地域の召会がキリストのからだの交わりから隔離させられるなら、私たちはこのパンにあずかる立場と権利を失います。私たちは主の食卓に来るときはいつも、来てからだの交わりを実行します。

### 適用: 新人編

最近バプテスマされた新人の皆さんは、主日のパンさき集会に参加する権利があることを認識してください。パンと杯の分離はキリストが贖いのために十字架上で死なれたことを示します。パンは主の体であり、杯は主の血を示します。私たちは主のパンを食べ、主を命として受け入れることにより、キリストのからだの肢体となります。さらにこのパンはキリストの奥義的なからだ、召会を示します。一つパンが多くの麦粒がブレンジングされてできているように、私たちが数が多いのですが、キリストの一つのからだです。ですからこのパンはまず私たちのためにささげられたキリスト個人の体を示し、続いてキリストの奥義的なからだを示しています。キリストのからだは宇宙的であり、すべての諸地方召会を含みます。全地の諸召会は主の食卓の交わりにおいて一です。私たちは全世界どこにいても、一つパン、宇宙的な一つのからだを証し、サタンを辱め、神に栄光を帰します。

### 185 主を賛美する — 彼を記念する (英 222)

- 1 このパンを見て感謝します、そは神聖なしるし、ごけいかくのおく義を、われらここに見る。
- 2 パンはながからだしめす、そはわれらのため、ながいのちを受けさせ、ご自身を得さす。
- 3 なれのからだは裂かれて、ご自身をあたえる、なれ、わがいのちとなり、ながはん侶となす。
- 4 パンはながおく義てきな からだをあらわす、われらは生ける肢たい、主とまったくひとつ。
- 5 われら、おおくのむぎつぶ、ひとつパンとなる、ここになれを記ねんし、なれでやしなわる。
- 6 パンによりまじわるとき、ながこころ満たす、せい徒らのまじわりは、なが豊満あかし。

祈り: 「おお主イエスよ、あなたは十字架上で血を流し、贖いを成就してくださいました。私は罪が赦され、滅びから免れました。それだけでなく、贖いの血を根拠に、私はキリストを命のパンとして食べることができるようになりました。ハレルヤ、主に感謝します。この命のパンを食べて、私はキリストのからだの肢体となりました。一つパンはキリストの奥義的なからだの交わりでもあり、全地の諸召会が一であることを証します。アーメン！」

### 高い福音 第12課 愛する父なる神(上)

ルカ 15:20 こうして彼は立って、父の所に帰って来た。ところが、彼がまだ遠く離れていたのに、父は彼を見て深く同情し、走り寄って彼の首を抱き、愛情を込めて口づけした。21 息子は言った、『お父さん、私は天に対しても、あなたの前でも、罪を犯しました。もう、私

はあなたの息子と呼ばれる資格はありません』。22 しかし、父は奴隷たちに言った、『急いで、あの最上の衣を持って来て彼に着せ、手に指輪をはめ、足にサンダルをはかせなさい。23 また、あの肥えた子牛を引いて来て、ほぶりなさい。食べて楽しもうではないか。24 私のこの息子が死んでいたのに生き返り、失われていたのに見つかったのだから』。こうして彼らは楽しみ始めた。

### 人は神から離れて遠くに行く

ルカ 15:11~24 のたとえは、人と神との関係を一人の息子とその父親の関係になぞらえています。これは息子が彼の父からであるように、人が神からであることを示しています。人は神によって造られています。人は神の命を受けなかったとは言え、人の命は神から来ています。ですから創造の面から言うと、人は神の息子です。ある日、二人の息子のうちの弟は、父の資産から自分の分け前を受け、父を離れ、そして遠い国へ旅立ちました。これは人が、神から天然の能力のすべてを受けたにもかかわらず、神から遠く離れて行くことを見せる絵です。父から遠く離れた国で、この弟は放蕩な生活をして、彼の持ち物のすべてを浪費しました。その結果、彼は貧しくなり、豚飼いの生活をしなければならませんでした。これは人が神を離れるとき、彼は罪深い生活を始めることを示しています。彼の持っているものをすべて浪費して、彼は罪に落ち込みました。豚を飼うことは罪深い生活をするを象徴します。豚は汚れているからです。人がいかに豚飼いの生活をしているかを描写します。人が映画館に行ったりダンスに行ったりするとき、人は豚小屋に行くのです。

### 人は神に立ち返り、神のために働くことを欲する

貧しさの中にある間に、その息子は目覚めました。彼は本心に立ち返り、父の家の良さを思い出し始めました。これはもろもろの罪の中に生きている罪人が、その終わりが来る時、神とその祝福を思い出すことを示します。人の貧しさが、人が目覚めるのを助けます。だれかが目覚めることは、彼らが極みまで罪を犯すまでは難しいのです。彼らがダンスやギャンブルの終局に達したとき、彼らは目覚めます。弟が父を思い出したとき、彼は父に帰る決心をしました。これは一人の罪人が罪から目覚めるとき、神を思い出し、彼に立ち返ることが自然であることを示します。

息子が戻ろうとしたとき、彼は自分の罪を思い出し、もはや父の息子であるに値しないと感じました。彼はむしろ一人のしもべのようになろうとし、帰って父に雇ってもらおうとしました。そこで彼は父に会うために、四つの文章を準備しました。まず「私は天に対し罪を犯しました」、第二に「私はあなたの前に罪を犯しました」、第三に「私はもはやあなたの息子と呼ばれる値打ちはありません」、そして第四に「私をあなたが雇っているしもべの一人にしてください」でした。これは罪人が目覚めて神に立ち返るとき、彼が神に対して罪を犯したので、神の祝福に値しないと感じるのは自然であることを示します。言い換えると、彼は無代価で神から何かを受けるに値しないと感じるのです。この故に彼は神の慈愛に対して自分の働きと良い振る舞いをもって取り引きすることに頼ろうとします。こうして彼は神の前に自分自身を改善することを望むのです。息子ではなく、しもべであるべきだと考えるのは、悔い改めたあらゆる罪人の間違った観念です。この観念のために、人は常に神の慈愛と交換するため自分自身の功績を打ち立てようとします。しかし、父は息子が準備した三番目までの文章を聞いたところで、息子を遮り、息子を受け入れ、息子を祝福したのです。あなたは神に帰る時、自分の観念を取り除き、ただ神に帰り、祝福を享受してください。